

泥にまみれ手植え

金足農高生、校内水田で

秋田市の金足農業高校（松）恒例の田植えが行われた。1
田稔校長、493人で20日、1年生157人が泥にまみれな



がらあきたしまらの苗を手植た。
えた。

田植えしたのは、学校敷地
内にある約25畝の水田。生徒
たちははたして水田に入る
と、慣れない泥の感触に大き
な声を出しながらも、1株ず
つ丁寧に植えていた。苗を育
てた生物資源科作物専攻の
2、3年生らが植え方をアド
バイスしたり、苗がなくなる
と次の苗を投げたりして1年
生をサポートした。

環境土木科1年の渡部風介
さん(16)は「苗を取ろうとし
て転んでしまったけど、入学
時から楽しみにしていた田植
えができてよかった。秋には
みんなで収穫したお米を食べ
たい」と話した。

苗を育てた作物専攻2年の
田村悠さん(16)は「作業に慣
れるにつれて真つすく植え
られるようになっていた。自
分たちが育てた苗が水田に並
ぶ景色を見て、コメ作りが始
まった実感が湧いた」と話し

1株ずつ丁寧に苗を植える
金足農高の生徒

秋の収穫は、作物専攻の2、
3年生が担当する予定。収穫
したコメの活用方法は、これ
から話し合って決める。
(大谷好恵)